

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パイオラックス
 コード番号 5988 URL <https://www.piolax.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 亨 TEL 045-577-3880
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,911	△3.0	1,236	△22.3	1,423	△28.4	1,063	△30.6
2022年3月期第1四半期	14,340	38.3	1,592	437.3	1,987	223.7	1,531	225.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,861百万円 (6.0%) 2022年3月期第1四半期 3,642百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	31.23	—
2022年3月期第1四半期	43.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	112,991	101,426	88.4
2022年3月期	109,674	98,332	88.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 99,901百万円 2022年3月期 96,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	60.00	—	67.00	127.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	30,000	7.1	2,400	△19.9	2,700	△23.3	2,070	△18.0	59.64
通期	62,700	13.7	5,800	11.2	6,400	10.8	4,400	4.2	126.77

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	38,054,100株	2022年3月期	38,054,100株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	4,013,774株	2022年3月期	4,013,774株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	34,040,326株	2022年3月期1Q	34,914,389株

（注）当社は、取締役向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（前第1四半期連結会計期間 81,929株、当第1四半期連結会計期間 81,929株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(参考資料)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済活動の自粛、停滞が徐々に緩和されてきたものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化、また円安・ドル高、原油高等を背景に物価が高騰しており、景気は極めて厳しい状況で推移しております。また海外につきましても、中国における爆発的な新型コロナウイルス感染者の増加により上海地域等のロックダウンが発生し、全世界で生産、物流に混乱、支障を来す等、経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、新型コロナウイルス感染症によるロックダウン等の影響に加え、世界的な半導体需要の逼迫を受けて自動車メーカーの減産が継続し、材料の供給問題・価格高騰、経済活性化に伴う輸送コストの増加等の影響を受けるなど依然として厳しい状況下となったことから、国内生産台数は前年と比較して減少となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルに拡販活動を継続的に推進いたしました。新型コロナウイルス感染症によるお取引先からの生産縮小等に伴う減産影響を受け、売上高は13,911百万円と、前期比△429百万円(△3.0%)の減収となりました。

一方利益面におきましては、より一層の合理化を推進いたしました。減収による限界利益の減少、原材料費や物流費、エネルギー費用等の高騰により、営業利益は1,236百万円(前期比22.3%減)、経常利益は1,423百万円(前期比28.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,063百万円(前期比30.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(自動車関連等)

米国をはじめ新興市場等にグローバル拡販を積極的に推進いたしました。新型コロナウイルス感染症によるお取引先からの生産縮小等に伴う減産影響を受け、売上高は12,768百万円(前期比3.8%減)となりました。一方利益面においては、収益改善活動をグループ一丸となって推進いたしました。減収による限界利益の減少、原材料費や物流費、エネルギー費用等の高騰により、営業利益は1,421百万円(前期比17.4%減)となりました。

(医療機器)

拡販を積極的に推進いたしました結果、売上高は1,142百万円(前期比7.3%増)となりました。一方利益面においては、合理化活動を推進いたしました。主に在庫減少等の影響により、営業利益は65百万円(前期比25.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産合計は、棚卸資産の増加等により3,317百万円増加し、112,991百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加等により224百万円増加し、11,565百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の増加等により3,093百万円増加し、101,426百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,505	36,043
受取手形及び売掛金	12,187	12,969
電子記録債権	1,566	1,496
有価証券	2,535	2,662
商品及び製品	5,321	5,927
仕掛品	2,082	2,211
原材料及び貯蔵品	2,859	3,083
未収還付法人税等	88	266
その他	2,022	1,708
貸倒引当金	△34	△34
流動資産合計	64,135	66,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,710	7,842
機械装置及び運搬具（純額）	6,599	6,865
工具、器具及び備品（純額）	2,132	2,352
土地	5,603	5,638
リース資産（純額）	419	465
建設仮勘定	1,271	1,417
有形固定資産合計	23,736	24,581
無形固定資産		
その他	1,705	1,733
無形固定資産合計	1,705	1,733
投資その他の資産		
投資有価証券	18,723	18,903
その他	1,372	1,438
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	20,096	20,341
固定資産合計	45,538	46,656
資産合計	109,674	112,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,680	2,885
未払法人税等	359	413
引当金	917	454
その他	4,863	5,291
流動負債合計	8,821	9,045
固定負債		
引当金	93	100
退職給付に係る負債	217	236
資産除去債務	81	81
その他	2,126	2,101
固定負債合計	2,519	2,519
負債合計	11,341	11,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,572	2,572
利益剰余金	93,221	93,516
自己株式	△4,677	△4,677
株主資本合計	94,077	94,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	878	830
繰延ヘッジ損益	△0	△31
為替換算調整勘定	2,097	4,880
退職給付に係る調整累計額	△160	△151
その他の包括利益累計額合計	2,814	5,528
非支配株主持分	1,440	1,525
純資産合計	98,332	101,426
負債純資産合計	109,674	112,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	14,340	13,911
売上原価	10,282	10,106
売上総利益	4,057	3,805
販売費及び一般管理費	2,465	2,568
営業利益	1,592	1,236
営業外収益		
受取利息	44	36
受取配当金	16	29
持分法による投資利益	246	177
為替差益	8	—
その他	92	57
営業外収益合計	408	300
営業外費用		
支払利息	2	3
固定資産廃棄損	6	4
貸貸収入原価	1	1
為替差損	—	99
その他	3	4
営業外費用合計	13	113
経常利益	1,987	1,423
税金等調整前四半期純利益	1,987	1,423
法人税等	432	348
四半期純利益	1,555	1,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,531	1,063

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,555	1,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	2
繰延ヘッジ損益	△0	△30
為替換算調整勘定	1,980	2,661
持分法適用会社に対する持分相当額	129	153
その他の包括利益合計	2,087	2,786
四半期包括利益	3,642	3,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,559	3,776
非支配株主に係る四半期包括利益	83	84

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当該変更による第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症等の影響に伴う会計上の見積りについて)

繰延税金資産の回収可能性の判断および固定資産の減損判定等にあたり、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響及び世界的な半導体需要の逼迫や材料の供給問題・価格高騰、経済活性化に伴う輸送コストの増加等による影響について、前連結会計年度の下期以降徐々に回復しているものの当連結会計年度以降も一定の影響が継続するとの前提に基づいて、足元の実績をもとに当初の事業計画値に反映し会計上の見積りとしております。

なお、将来において、これらの見積りおよび仮定とは異なる結果となる可能性があります。

また、当該仮定について、前連結会計年度の有価証券報告書の「重要な会計上の見積り」に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	13,276	1,064	14,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	13,276	1,064	14,340
セグメント利益	1,721	88	1,809

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,809
全社費用(注)	△219
セグメント間取引消去	3
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,592

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	12,768	1,142	13,911
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	12,768	1,142	13,911
セグメント利益	1,421	65	1,487

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,487
全社費用(注)	△252
セグメント間取引消去	3
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,236

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	6,417	2,795	4,566	561	14,340	—	14,340
(2)セグメント間の内部売上高	1,051	93	272	6	1,423	△1,423	—
計	7,468	2,889	4,838	567	15,763	△1,423	14,340
営業利益	729	519	792	2	2,043	△451	1,592

II 当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	5,793	2,595	5,072	449	13,911	—	13,911
(2)セグメント間の内部売上高	995	71	187	3	1,257	△1,257	—
計	6,789	2,666	5,260	452	15,168	△1,257	13,911
営業利益	296	282	945	△19	1,504	△267	1,236